

(9) 財団法人 鳥取県食鳥肉衛生協会経営状況報告書

一 法人の概要

- | | |
|-----------|--|
| 1 名 称 | 財団法人 鳥取県食鳥肉衛生協会 |
| 2 目 的 | 食鳥処理の事業者等に対する衛生教育、食鳥処理に関する正しい知識及び処理技術の普及、食鳥肉等の消費者に対する啓発並びに食鳥肉の衛生検査等を行い、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的とする。 |
| 3 設立許可年月日 | 平成 4 年 2 月 1 3 日 |
| 4 設立登記年月日 | 平成 4 年 2 月 2 1 日 |
| 5 基 本 財 産 | 出えん金 6 0 0 , 0 0 0 , 0 0 0 円
鳥取県出えん金 6 0 0 , 0 0 0 , 0 0 0 円 |
| 6 役 員 | 理 事 8 人 監 事 2 人
理 事 長 坪 倉 操 (社団法人鳥取県獣医師会会長)
副理事長 井 関 伸 子 (鳥取市消費者団体連絡協議会会長)
常務理事 池 田 正 仁 (鳥取県生活環境部食の安全推進課長)
理 事 大 槻 公 一 (国立大学法人鳥取大学農学部教授)
" 松 島 文 子 (鳥取短期大学生生活学科教授)
" 吉 田 良 平 (鳥取県鳥取保健所長)
" 勝 原 貴美恵 (鳥取県食生活改善推進員連絡協議会副
会長)
" 宮 下 徳 子 (鳥取県薬剤師会理事)
監 事 浦 林 梅 樹 (鳥取県公社・事業団等監事室監事)
" 馬 壁 聰之介 (") |
| 7 職 員 | 8 人 (うち県派遣職員 3 人、県退職職員 4 人) |
| 8 事 務 所 | 西伯郡大山町小竹 1 2 9 1 番地 7 |

二 平成16年度事業実施状況

1 食鳥検査事業

食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律（平成2年法律第70号）第21条の規定に基づき鳥取県知事から委任された食鳥検査の業務を行った。

（検査対象施設及び検査食鳥羽数）

東伯町農業協同組合食鶏加工流通センター	6,155,014羽
名和食鶏有限会社	550,617羽
山陰食鶏農業協同組合食鶏処理施設	5,845,713羽
計	12,551,344羽

2 研修教育事業

ア 食鳥検査結果を集計し検討を加え、各食鳥処理業者及び家畜保健衛生所を通じ、生産者へのフィードバックを図った。

イ 各食鳥処理場の食鳥処理衛生管理者に対して、随時、食鳥の異常鑑別等の指導を行った。

ウ 毎月、常勤検査員全体会議を開催して情報交換等を行ったほか、非常勤職員との検査技術合同研修会を7月、12月の2回開催した。

エ 検査技術水準の向上を図るため、検査員を獣医学会、鶏病技術研修会、全国食鳥指定検査機関協議会等へ派遣した。

3 広報啓発事業

ア 「食鳥だより No18、19」を発行し、関係機関に配布して食鳥検査事業の啓発に努めた。

イ 食鳥検査結果を必要に応じて各処理業者に還元することにより、食鳥肉の衛生意識の高揚を図ることに努めた。

ウ 各食鳥処理場において衛生教育を実施し、食鳥処理における衛生対策及び食鳥肉の衛生知識の普及、加えて、高病原性鳥インフルエンザに関する正しい知識の普及、啓発に努めた。

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
	管理費	12,590,000	9,781,672	2,808,328	
	1 職員給与費	8,850,000	7,984,296	865,704	
	2 事務費	3,493,000	1,684,978	1,808,022	
	3 会議費	217,000	82,398	134,602	
	4 その他	30,000	30,000	0	
	事業費	58,948,000	49,887,601	9,060,399	
	1 食鳥検査事業費	56,848,000	48,805,579	8,042,421	
	(1) 職員給与費	52,276,000	46,728,661	5,547,339	
	(2) 事務費	4,572,000	2,076,918	2,495,082	
支	2 広報啓発事業費	600,000	207,900	392,100	
	3 研修教育事業費	1,500,000	874,122	625,878	
	特定預金支出	12,000,000	12,000,000	0	
	1 事業安定化資金積立預 金支出	12,000,000	12,000,000	0	
	過年度支出	284,000	283,865	135	
	1 過年度支出	284,000	283,865	135	
出					
	当期支出合計(C)	83,822,000	71,953,138	11,868,862	
	当期収支差額(A) - (C)	7,913,000	3,723,448	11,636,448	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	11,573,000	23,208,495	11,635,495	

財団法人 鳥取県食鳥肉衛生協会
貸借対照表

(平成17年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	24,345,866	負債	2,383,811
1 現金預金	15,667,852	1 流動負債	1,137,371
(1) 普通預金	15,667,852	(1) 未払金	945,321
2 未収金	8,678,014	(2) 預り金	192,050
固定資産	651,475,133	2 固定負債	1,246,440
1 基本財産	600,000,000	(1) 退職給与引当金	1,246,440
(1) 基本財産投資有価証券	600,000,000	正味財産	673,437,188
2 その他の固定資産	51,475,133	(うち基本金)	(600,000,000)
(1) 電話加入権	288,000	(当期正味財産増加額)	(15,322,093)
(2) 什器備品	940,693		
(3) 退職給与引当預金	1,246,440		
(4) 事業安定化資金積立預金	49,000,000		
合 計	675,820,999	合 計	675,820,999

三 平成17年度事業計画

1 食鳥検査事業

食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律（平成2年法律第70号）第21条の規定に基づき鳥取県知事から委任された食鳥検査の業務を行う。

（検査対象施設及び検査予定食鳥羽数）

東伯町農業協同組合食鶏加工流通センター	6,300千羽
名和食鶏有限会社	560千羽
山陰食鶏農業協同組合食鶏処理施設	5,940千羽
計	12,800千羽

2 研修教育事業

食鳥検査員の食鳥検査技術の標準化を図るため、随時研修を行うほか、獣医学会、厚生労働省主催の研修会、鶏病研究会等への派遣を行う。

食鳥処理衛生管理者の資質の向上及び処理施設の衛生水準の向上を図るため、研修会、講習会等を行う。

ア 食鳥処理衛生管理者の講習会	随時
イ 検査員の定期研修会	6月、12月

3 広報啓発事業

生産段階から安全な食鳥肉の確保を図るため、食鳥生産者に対して検査結果情報を提供するほか、広報紙を作成し関係機関に配布する。

また、消費者の信頼を確保するため、食鳥処理業者に対して衛生管理改善の指導を行う。

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
	管理費	12,600	12,590	10	
	1 職員給与費	8,850	8,850	0	
	2 事務費	3,493	3,493	0	
	3 会議費	217	217	0	
	4 その他	40	30	10	
	事業費	59,598	58,948	650	
	1 食鳥検査事業費	57,498	56,848	650	
	(1) 職員給与費	52,276	52,276	0	
	(2) 事務費	5,222	4,572	650	
支	2 広報啓発事業費	600	600	0	
	3 研修教育事業費	1,500	1,500	0	
	特定預金支出	11,651	12,000	349	
	1 事業安定化資金積立 預金支出	11,000	12,000	1,000	
	2 退職給与引当預金支出	651	0	651	
	予備費	5,000	0	5,000	
	1 予備費	5,000	0	5,000	
出	過年度支出	0	284	284	
	過年度支出	0	284	284	
	当期支出合計(C)	88,849	83,822	5,027	
	当期収支差額(A) - (C)	11,573	7,913	3,660	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	11,573	11,573	